

おおだて 市議会だより

令和8年5月1日 160号

大館市矢立保育所 閉所式



大館市下川沿保育所 閉所式



議案等の審議結果	▶	2
一般質問	▶	4
委員長インタビュー	▶	10
常任委員会から	▶	11
私もひとこと	▶	12



YouTubeで公開中

議案等の審議結果

令和8年3月定例会は2月24日～3月16日の会期で、条例案23件、専決処分の承認4件、単行案6件、補正予算案18件、当初予算案17件などの審議を行い、全て承認・可決されました。審議の結果の主なものをお知らせします。審議結果の一覧は二次元コードからご覧ください。



令和8年度予算案 … 8年度からの新規事業の一部を紹介します

<p>路線バス運賃支援トライアル 1,774万円</p> <p>市内を運行する路線バスに上限を導入し、バス利用の促進・定着を図る</p>	<p>待機児童ゼロプロジェクト 1,606万円</p> <p>保育士を拡充し、豊かな子育て環境を整備</p>	<p>公共施設予約システム導入 1,244万円</p> <p>施設利用の利便性向上や人手不足対策として、スポーツ施設に予約システムやスマートロックシステムを導入</p>
<p>大館ベンチャーラボ・大館レガシーラボ 5,189万円</p> <p>地域活性化起業者制度と地域おこし協力隊制度を活用し、なりわいの承継・創業を支援</p>	<p>Jークレジット運営事業 5,472万円</p> <p>Jークレジット創出により新たな財源を生み出し、間伐、再造林等の適切な市有林経営に取り組む</p>	<p>家事育児あんしんサポート 78万円</p> <p>家事や子育てに不安や負担を抱えた世帯を支援員が訪問し、傾聴、家事、育児支援を行う</p>

このほか、令和8年度当初予算は特別会計・企業会計を含めて **765億1,191万7,000円** となりました。



賛否が分かれた案件の採決結果は以下のとおりです。

- ・ 議案第43号 令和8年度大館市一般会計予算案
- ・ 議案第60号 大館市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案
- ・ 議案第61号 大館市立病院使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例案

○：賛成 ×：反対 欠：欠席

会派等 議員名	令和会								無所属 藤原 明	早共黨 今泉まき子	公明党		真政会						市民の風					議決結果				
	吉田 勇一郎	菅原 喜博	田中 耕太郎	花岡 有一	伊藤 毅	秋元 貞一	佐々木 公司	武田 晋			伊藤 深雪	小畑 新一	佐藤 和幸	金谷 真弓	明石 宏康	柳館 晃	田村 秀雄	田村 儀光	石垣 博隆	伊藤 励	工藤 賢一	花田 強	岩本 裕司		相馬 エミ子	吉原 正	佐藤 芳忠	
議案第43号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第60号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	原案可決	
議案第61号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

可否同数の場合は議長が決めます。



扇田病院は扇田診療所に

扇田病院の無床診療所化をめぐり、6人の議員による討論が行われました。討論の一部を要約してご紹介します

賛
成



菅原喜博 議員

医療従事者の確保の厳しさや入院患者の減少、物価や人件費の高騰などで扇田病院は困難な状況にあります。外来機能や在宅医療、検診機能など地域に必要な医療は継続し、入院機能は総合病院や地域医療連携推進法人との連携を一層強化して地域全体で対応し、限られた医療資源を有効に活用するための体制へ転換しようとするものです。扇田病院の診療所化は苦渋の決断ですが、将来世代に持続可能な医療体制を引き継ぐための前向きな改革であると評価します。

私も賛成です 明石宏康議員

まず、県の構想に基づいた病院事業の将来の姿に不明確な点があり議論が不十分ではないかという点。病院事業の資金不足解消計画の詳細が明らかになっておらず、病院事業全体で15%を超えている資金不足比率を無床化した扇田診療所のみで解消することは現実的には不可能であること。扇田病院無床化後の入院患者受け入れ体制に関する不安の解消が不十分で、パブリックコメントにも多くの意見があったことから、反対の意思を表明します。

私も反対です 相馬エミ子議員、今泉まき子議員、
吉原 正議員

反
対



工藤賢一 議員

陳情の審議結果

陳情第23号 臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情

陳情第36号 旧花岡川PFAS汚染の原因究明および対策をもとめる陳情書

陳情第38号 夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現のため国に意見書提出を求める陳情

陳情第41号 「小・中学校給食費の完全無償化」のため、秋田県へ財政支援を求める意見書提出の陳情

陳情第43号 臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情

陳情第44号 学校給食の無償化を求める陳情書



陳情第30号 市民と共に「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取り組みについての陳情

陳情第37号 ケア労働者の処遇改善のため、報酬10%以上引き上げを求め国に意見書提出を求める陳情

陳情第40号 最高裁判決に基づきすべての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める国への意見書提出の陳情書

陳情第42号 インボイス制度の廃止をめざし、事業者の負担を軽減する経過措置を継続するよう求める意見書を国に送付することを求める陳情



一般質問



く どう けん いち
工藤 賢一
(市民の風)



パブリックコメントについて

〈問〉パブリックコメントの運用について、所管する部署によって食い違いが見られる。恣意的な運用と誤解を受けないよう、運用方法・手順について、条例や規則等でルール化を図るべき。

〔市長〕市では、基本的な政策に関する計画や指針等を策定する際には、パブリックコメントを実施し、寄せられた意見や情報を政策形成の参考とし、反映させている。この制度は多数決により施策の可否を決めるものではない。また、恣意的な運用を防ぐため、お寄せいただいた意見については項目ごとに分類し、市の考え方を付して公表している。全庁的な運用方法の統一化については、従前の事例を

参考として適切に対応している。

災害備蓄拠点について

〈問〉内閣府で定めている災害備蓄拠点を大館に設置することについて働きかけてはどうか。

〔市長〕国では、全国9地域、東北では仙台に拠点を整備しているが、日沿道の整備や米代川流域の治水対策を踏まえつつ、国や関係機関との連携を視野に情報収集を進める。

北鹿ヘルスケアネットについて

〈問〉大館初の地域医療連携推進法人である北鹿ヘルスケアネットの存在意義が高まっている。今後は取り組み内容を丁寧に周知し、事業の進捗と評価についてホームページなどを通じ見える化するべき。

〔病院事業管理者〕毎年度決算後に財務諸表を公表することになっている。先進事例を参考にしながら、情報の出し方を検討したい。

その他の質問

・全国育樹祭について

大館市議会YouTube公式チャンネルで議会の様子を視聴できます



さ とう よし ただ
佐藤 芳忠
(市民の風)



市のパブリックコメントの結果は病院の存続でした。市長の存続案は。

〈問〉扇田病院が無くなれば市民は鹿角市の病院が市内の民間病院に入院しなければなりません。子供からお年寄りまで安心できる現在の医療体制をどうして壊すのでしょうか。7年度に市は扇田病院の病床を80から40に減らし、一番の収入源の病床を半分にされた扇田病院は赤字が増えまし

た。そして市は赤字が増大する可能性があります。9年度から診療所にするとしたのです。市民の医療を全く考えない経営プランです。高齢者にとって扇田病院が無くなることは命に関わる問題です。診療所案に反対する市議は8人しかいませんが、扇田病院を残すか無

くすかを決めるのは石田市長です。石田市長が残すと決断すれば、扇田病院は残るのです。パブコメを提案したのは市長です。市長はパブコメを提案した時に、『市民の意見を案に反映し最善の案を出したい』と断言しました。パブコメの結果は扇田病院の存続でした。市長の存続案をお聞かせください。

〔市長〕扇田病院を無床診療所とするの判断をいたしました。

外来と入院患者を減らし、民間譲渡などを検討する総合病院の方針について

〈問〉病院経営強化プランは、外来の軽減を進め病床規模を検討し、経営が悪化した場合は民間譲渡等を検討していくとし、入院患者と外来患者を減らす目標を立てています。このような経営を続ければ総合病院は民間譲渡になるでしょうか。市長は黒字を目指さない総合病院の方針をどう考えているのか。

〔市長〕病院経営の形態として民間譲渡等を選択肢としたものです。

議会報委員会からの補足

市長は、一つ目の問には「議会の議決が最終的な決定となる」、二つ目の問には「民間譲渡ではなく現在の地方公営企業法の全部適用の形態を続ける」と答弁しています。



すが わら よし ひろ
菅原 喜博
(令和会)

ふるさと納税の寄附額 拡大に向けた取組につ いて

〔問〕 全国のふるさと納税寄附額は5年連続で過去最高を更新し、伸び率も5年間で2倍弱となっているのに対し、本市の伸び率は約1・1倍と停滞している。本年度の本市の寄附状況は上半期で過去最多となったものの、10月から12月までは減少し、12月末時点で約9億7000万円となっている。低迷の一因としてコメ価格の高止まりなどで買い控えが起きたと推測したが、北秋田市ではコメの量を十分に確保でき好調に推移したと対照的な結果となっており、本市はこの結果を真摯に受け止め、マネジメント体制を再構築すべきである。また現状2者体制である

中間管理事業者について、管理窓口が二重の状態であり煩雑な調整業務の負担軽減や責任の明確化、透明性を確保するため業務を一元化し、より安定した運営体制とすべく改善に着手すべきである。

〔市長〕 米価高騰に伴い在庫確保が思うように進まなかったことなどが影響し、寄附額が伸び悩んでいる。自治体間の競争が激しさを増す中、ポータルサイト構築により専門的な技術や知識が求められており、これを管理する中間管理事業者の役割が重要となっている。本市の中間管理事業者は2者体制で事業者間の事務処理が重複しているため、令和8年度の早い段階でプロポーザル審査を実施し業務に精通・特化した事業者への一元化を図りたい。また、中間管理事業者とコメを主力とする規模農業経営体が密接に連携し、コメの確保を戦略的に行っている事例があり、本市でも検討していく。

6月中旬に市のホームページに会議録を掲載予定です。



さ さ き こう じ
佐々木 公司
(令和会)

記録的豪雪への対応に ついて

〔問〕 除排雪の出勤体制や交通網への対応はどうなっているか。また、家屋損傷への助成や農業者への支援策は。

〔市長〕 除排雪については国や県等からの支援を得ながら対応していくとともに、通学路の排雪を重点的に行い安全性を確保していく。雪による家屋損傷への助成については、住宅リフォーム支援事業の周知を行う。また、関係機関と連携し農業関係者への支援策を講じていく。

ゆきみらい2026 in 大館から学んだこと と、行政として取り組 む計画について

〔問〕 県内で13年ぶりの開催となったゆきみらいでは、さまざま

業者からいろいろな提案があった。それを踏まえた本市としての取り組みはあるか。

〔市長〕 ゆきみらいでは見本市などの展示ブースや除雪機械を視察した。研究発表会で紹介されたスクラム除雪を早速国や県と連携して実現し、東北地方整備局との関係性をさらに深め、克雪に向けた取り組みを考える契機となった。

激甚化する自然災害への 備えと自己の不注意 による事故防止策につ いて

〔問〕 市の防災マップの更新はどうか。また、日常生活のミスによる火災の死亡事故を防ぐため、高齢者や単身世帯への踏み込んだ対応策はあるか。

〔市長〕 最新の防災マップは令和4年に作成し全世帯に配布している。令和8年度には、近年全国的に発生している大雨による洪水被害を踏まえ、県管理河川の浸水想定区域を追加した防災マップを作成することとしている。

その他の質問

・道の駅について





たむら のりみつ
田村 儀光
(真政会)

経歴疑惑について

〔問〕 大学からのメールを自ら公表すべき。また、市議会議員になったときにSNSを更新しているが、そのときに消去すべきだったのではないか。

〔市長〕 メールは公表しないよう大学側から返答を頂いているため、公の場でお示しすることは考えていない。また、フェイスブックに記載していた経歴に関しても前回お答えした通りである。

市政運営について

〔問〕 日本一若い首長として全国から注目され、市民からは期待されていたと思うが、就任して1年半の感想は。また、2月8日に行われた衆議院議員総選挙で、多くの市民のご支援により前市長の福

原代議士が2期目の当選を果たした。今後の施策の展開について、市長の考えは。

〔市長〕 就任から1年半が経過し、今年度は特に自然災害などの対応に追われたことが強く印象に残っている。災害対応により市の財政状況が厳しさを増す中で、本市が抱える人口減少や少子高齢化、地域の担い手不足をはじめとした議題にどう対応していくかに頭を悩ませた。また、前市長の福原代議士が小選挙区で勝利され、再び国政の場でご活躍されることについて、地元の市長として大変心強く、喜ばしく思っている。お力を借りながら、これまで以上に国が推し進めるさまざまな施策と歩調を合わせた事業を展開していく。

その他の質問

・令和8年度予算について



大館市議会YouTube公式チャンネルで議会の様子を視聴できます



市営住宅への若者の入居促進について



いまいずみ まきこ
今泉 まき子
(日本共産党)

〔問〕 市営住宅に空き家が増えている原因と入居要件の緩和について。

〔市長〕 定住化促進住宅を除く公営住宅は現在688戸、そのうち空き家は175戸で、空き家率は25.4%であり、建物の老朽化が要因である。連帯保証人の要件の緩和のほか、同居する子どもの年齢要件を18歳まで引き上げる。

保育園の待機児童ゼロについて

〔問〕 保育士を配置することでどのくらいの受け入れを想定しているのか。

〔市長〕 年度途中に数十人の待機児童が発生している。廃止となるべき地保育所の人材を生かすため、待機児童ゼロプロジェクト事業を実施する。

小・中学校の給食費の完全無償化について

〔問〕 4月からの国の助成を機に、本市でも小・中学校給食費の完全無償化を実施すべき。

〔市長〕 国は児童1人当たり月額5200円の支援を示しており、加えて重点支援地方交付金を充てることで保護者負担は月額800円程度に軽減される見込みである。中学校給食費の負担軽減も図りたい。

扇田病院について

〔問〕 プランの見直しについて丁寧に説明する姿勢を。また、病床を守ることを。

〔市長〕 令和3年6月の定例会で診療所化の案を示し、市内7カ所で説明会を開催するなど多くの時間をかけて議論してきた。人材確保が困難であること、病床を維持する場合には持続的な経営が困難であることから、早急な診療体制の見直しが必要である。

その他の質問

・公共交通の充実について
・訪問介護事業所の安定した事業継続のための支援を

中学生にピロリ菌検査を実施するべき



伊藤 深雪
(公明党)

〔問〕 胃がんの罹患率・死亡率がもっとも高いのが秋田県である。この状況をどのように捉えているか。また、胃がんの原因のほとんどはピロリ菌の感染であり、感染経路は幼少期の家庭内での経口感染である。若い時期に除菌することで、ピロリ菌が原因で起こる胃がんの発症のほとんどを予防できると言われている。そこで、中学生にピロリ菌検査を実施するべきと考えるが、市長の考えは。

〔市長〕 秋田県の胃がん死亡率は10年以上上位で、本市も同様の状況である。胃がんは早期発見・早期治療で高い確率で治癒が期待できるため、X線による検診に加え、より精度の高い内視鏡検査を追加

する予定。中学生のピロリ菌検査の実施については専門家や関係者の意見を伺っていく。

投票所設置の見直しをするべき

〔問〕 国の投票所設置基準は3キロメートル圏内、有権者数3千人に1カ所となっているが、実際の道路では3キロメートル以上ある所もあり、有権者数が3千人以上の所は3カ所だけである。また、一昨年と今年の衆院選では期日前投票が全投票者数の約6割を占め、当日投票者数が減少している。そこで、有権者数の少ない投票所を減らし移動投票所に対応するなど見直しをするべき。

〔選挙管理委員会委員長〕 期日前投票所の利用率が増加し、当日投票の有権者数が減少しているため、今年度から投票所の見直し作業を進めている。交通弱者対策として移動式期日前投票所の導入を検討し、来年度は導入可能地域の調査をした上で、投票所の見直しを進める。

6月中旬に市のホームページに会議録を掲載予定です。



除排雪業者の逼迫について



相馬 エミ子
(市民の風)

〔問〕 今冬は記録的な大雪に見舞われ、多くの人的被害や建物の損壊が発生した。改めて被害に遭われた方にお見舞い申し上げる。記録的な大雪によって屋根の雪下ろしや除排雪業者が逼迫状況にあり、人的被害や建物被害がさらに増えるのではと心配しているが、除排雪業者が逼迫した場合の対策を考える必要があるのではないか。

〔市長〕 1月中旬から積雪量が急激に増加し、屋根の雪下ろしや除雪に追われ、住家の損壊の危険性が高くなるなどの相談が多数寄せられた。建設技能組合から除排雪業者の情報を頂き紹介したが、依頼が集中してすぐに対応できない状況が続いたとも伺っている。市内企業や学校など36団体が登録し

ている社会福祉協議会の除雪ボランティアでは82世帯の除雪を実施したほか、消防隊員も作業に協力した。今冬の大雪により中長期的視点で改善しなければならぬ課題が見えてきた。住民参画による除雪の仕組みづくりに取り組みたい。

合葬墓の整備について

〔問〕 高齢化の進展に伴い、独り暮らし世帯が増え、しかも後継者がおらず、お骨を引き取る人がいないなど、お墓の管理が難しくなっており、合葬墓の整備を望む声が増えている。身寄りのない高齢者などは、亡き後一体誰がお骨を引き取るのか。市民ニーズの把握に努める必要があるのではないか。

〔市長〕 お墓を守る人が近くにいない、遺骨を引き取る人がいないといったケースでは、親戚の近くに改葬されるか、永代供養を選ばれていると捉えている。引き取る人がいない遺骨については小柄沢墓園内の無縁墓に納骨している。市内の宗教法人で合葬墓建設の意向があり、市で周知できるものは周知していく。





かね や ま ゆみ
金谷 真弓
(真政会)

メディカルホテルについて

〔問〕 県北二次医療圏の周産期対応の病院は、個人病院を除き、能代厚生医療センターと本市総合病院の2病院のみである。周産期の対応には、例えば遠方からの総合病院一択の妊婦さんを支える「宿泊プラス微弱陣痛見守り」機能の提供や、産後ケアの充実が考えられる。メディカル分野の可能性を含む民間宿泊施設と連携し、出産を考えている方や、他市町村の妊産婦さん、自宅に戻るには不安が残る産婦さんへの手厚いサポートを一事業として実施してはどうか。女性に優しいまちとは、全ての年代に優しいまちと思うが、市長の考えを問う。

〔市長〕 総合病院においては、県

北二次医療圏の中核病院として地域周産期母子医療センターの役割を担っていることから、妊婦さんが安心して出産できる体制づくりが必要不可欠なものと考えている。市では、現在、助産師が自宅へ出向きケアを行う「訪問型」と、助産院でケアを受ける「日帰り型」の二つの産後ケアを行っており、来年度、利用料の無償化や、利用時間に柔軟性を持たせるなど、サービスの拡充を図ることとしている。子どもを安心して産み、育てやすい環境の整備を進めるため、まずは市内の助産院や総合病院を活用した産後ケアサービスの充実を図っていく。



大館市議会YouTube公式チャンネルで
議会の様子を視聴できます



居住誘導区域に関する 本市の政策的方向性について



いとう れい
伊藤 励
(市民の風)

〔問〕 人口減少社会において行政サービスをどう維持するかが課題である。富山市では公共交通や医療、買い物など生活利便性を踏まえ住宅取得支援などにより住み替えの選択肢を広げている。本市の居住誘導区域の位置付けと今後の方向性について市長の考えは。

〔市長〕 市では都市再興基本計画に基づき医療や商業施設が集まる区域を居住誘導区域とし、人口減少下でも暮らしやすいまちを目指している。富山市の取組も参考に、計画見直しや公共交通の維持など持続可能なまちづくりを進めていく。

将来を見据えた除雪体制

〔問〕 除雪オペレーターの評価制度について。限られた人材と重機で行う除雪は高度な技術が必要である。質の高い除雪を行うオペレーターを正當に評価し、報酬を加算する仕組みの導入について市の考えは。

〔市長〕 個人評価は道路状況の違いや公平性の確保などから難しい面がある。今後も技術向上の取り組みを踏まえ、除雪体制の確保に努めていく。

〔問〕 マッチング型の有償雪処理サービスの提供について、高齢化に伴い除排雪に不安を抱える世帯が増えている。他自治体ではマッチングサイトを活用した有償雪処理サービスが広がっている。本市の仕組みづくりについて市の考えは。

〔市長〕 市では軽度生活援助事業や地域除雪支援事業を実施している。今後は業者紹介の仕組みの検討や制度周知を進め安全な除雪体制の確保に努めていく。

雪害による農業等への被害と今後について



いしがき ひろたか
石垣 博隆
(真政会)

〔問〕 大館市でもビニールハウスの倒壊が多く、ハウスはもとより飼育中の比内地鶏への被害や、今後飼育する環境を整え直す必要もあることから、機械や設備の破損も大きな被害となっている。いずれも被害の多さに各メーカーも資材不足と労働者不足等で、ハウスの再建もいつになるのかめどが立っていない。となれば、間もなく始まる水稻育苗や園芸、比内地鶏の飼育にも影響が出て、今年の営農計画に大きな穴が開くことになる。雪害による倒壊等の被害により営農再開には時間がかかり、二次被害も考えられる。さらに果樹の被害は甚大で、樹の幹割れ・棚の崩壊と今後の営農が困難な園地

が大多数となっている状況である。市の対応は。

〔市長〕 生産施設の破損や倒壊、農業関係の被害が多数発生しており、特に果樹への被害は甚大であると認識し、被害に遭われた皆さまに改めてお見舞い申し上げます。2月に鈴木知事と共に被害状況を視察させていただき、その後永井東北農政局長と意見交換を行い、

今後の支援・協力をお願いした。3月には県北部8市町村の首長らと共に、福原代議士にご同行いただき総務省及び財務省を訪問し、

財政支援の要望を行う予定である。市としても被害農家に寄り添い、JAなどの関係機関と連携し、

国・県と共にあらゆる支援を行っていく。

その他の質問

・立地適正化計画の策定について

6月中旬に市のホームページに会議録を掲載予定です。



新年度予算における建設事業費の減少について



やなぎだて こう
柳館 晃
(真政会)

〔問〕 普通建設事業費の減少は一時的なものなのか、それとも財政構造上のものなのか。公共投資の減少は地元事業者の受注機会の減少、さらには地域経済の停滞につながりかねないのでは。

〔市長〕 近年の大雨災害や今冬の除排雪経費の増大に伴う財政調整基金の減少もあり、市が単独で大規模事業を実施することは容易ではない。今後の建設投資については「選択と集中」「施設の集約化」「長寿命化」などの観点から公共施設の適正化を進め、持続可能な市政運営となるようプロポーザル方式を活用するなど事業費圧縮やサービス向上に努める。

公民連携について

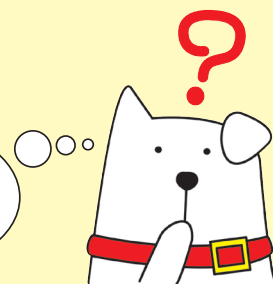
〔問〕 本市における公民連携の現状と課題をどのように認識しているのか。具体的な推進策はあるのか。

〔市長〕 行政だけでは対応が難しい課題については、民間事業者と連携・協力しながら解決を図る共創のまちづくりを推進していく必要がある。地域活性化起業人制度と地域おこし協力隊制度を活用し、起業と事業承継を目指す大館ベンチャーラボ、大館レガシーラボに関連する予算案を盛り込んだ。また、クラウドファンディング型ふるさと納税を進める中において、ふるさと納税の拡大に向けて米などの返礼品を保管する施設整備や返礼品の生産拡大に向けた設備投資に対する支援も検討し、民間事業者と連携して新たな投資の呼び込みに期待している。



そもそも常任委員会って？

前回から委員長のインタビューが載っているけど、常任委員会って何のこと？



議会には様々な分野の議案が提出されるため、全ての議案を議員全員で本会議中に審議をすると時間もかかり、詳しい話し合いができません。大館市では**総務財政、厚生、教育産業、建設水道**の4つの常任委員会を設置しており、それぞれ分担して担当する議案の審査をしています。

議案を委員会に分担し各議案の詳細な説明を受けることで、より専門的な議論、審査をすることができ、議員も納得できるまで十分な時間をかけて質問や確認をすることができます。



各委員会での審査の結果をもとに、本会議で採決が行われます。そのため、常任委員会は議会の「予備的審査機関」といわれています。



佐々木公司 委員長

委員会

インタビュー

教育産業常任委員長

常任委員会って何をしているのか、疑問に思ったことはありませんか？
議会報委員が、各委員長に疑問をぶつけてみました。

Q 教育産業常任委員会は市民生活とどう関わっていますか？

教育委員会、観光、農業など幅広い分野で市民の日常生活と密接につながっています。私は特に観光が大事だと考えています。たくさんの方が大館に来て楽しみ、お金を使ってもらえば地域経済の活性化にもつながります。



Q これまで、特に重点的に議論されたテーマは？

移住や定住、少子化対策に関わる問題が特に重要だと考えます。子育て支援などをセットで打ち出しているところもありますので、大館も「住みたい」と感じてもらえるアピールをしてほしいと思っています。

Q 委員長になって気付いたこと、意識している運営のポイントは？

委員長は自分が前に出て発言するというより、委員の皆さんにしっかり議論してもらおう立場です。皆さんが論点をしっかり押さえて質問し、市長や当局から必要な答弁を引き出せるように進めていきたいと思っています。

Q 市民には、どんな関心や関わりを期待していますか？

日常生活に密接に関わるテーマがたくさんあるので、ぜひ関心を持ってほしいです。地域のことはその地域の人でなければ分からない部分があります。一般質問を聞いたり議会報告会で意見を出したりして、そうした声をもっと届けてもらいたいと感じています。

ありがとうございました！ 次回は厚生常任委員長の予定です。

常任委員会から

総務財政常任委員会

公共施設予約システムの導入について

行政手続きのデジタル化を進め、住民サービスの向上と業務の効率化を図るため、公共施設予約システムを24施設に導入することが報告された。スマホやパソコンから施設の空き状況確認や予約、オンライン決済が可能となり、24時間365日利用できる環境を整備することで、電話や窓口での手続きの負担を軽減し、職員の業務効率化につなげる。さらにスマートロックスを導入し、予約から施設利用までをオンラインで完結できる仕組みを整える。委員からは、予約の調整や支払方法などについて質問が出された。



厚生常任委員会

ごみ処理広域化の検討結果について

大館市、鹿角市、小坂町の3市町で協議を進めていたごみ処理の広域化の検討結果について報告があった。現在、大館市は大館クリーンセンターで、鹿角市・小坂町は鹿角広域行政組合環境衛生センターで焼却ごみの処理を行っており、それぞれの施設の更新・改修時期を勘案しながら広域化の検討を進めてきたが、タイミングが合わず、大館市単独で新たなごみ処理施設の整備を進めることとなった。令和19年度の稼働開始を目指し、建設場所は未定。将来的に広域化は避けられず、引き続き3市町で協議していく予定である。委員からは、広域化の時期や新施設の規模等について質問が出された。



教育産業常任委員会

学校教育環境適正化に係る提言書（案）について

小学校の統合・再編の方向性として、釈迦内、花岡、矢立の3校、扇田、西館、東館の3校、早口と山瀬の2校をそれぞれ統合する方針である旨の報告を受けた。令和11年度の統合を目指し、地域住民への説明や統合先校舎の改修準備を進めていく。委員からは、スクールバスの運行や児童の安全確保等について質問が出された。そのほか、地域おこし協力隊と地域活性化起業者を活用して事業承継や起業を促す大館ベンチャーラボ・大館レガシーラボなど、新年度の新規事業等について説明を受けた。



建設水道常任委員会

路線バスの利用促進

利用者が減少している路線バスの利用促進事業について説明があった。得とく定期券の購入の制限がなくなり、乗車範囲も拡大される。また、市内を運行する路線バス料金を上限を設けることで利用者負担を軽減し、路線バスやコミュニティバスの利用促進を図る。委員からは、職員や市長も積極的にバスの利用をしてほしいという意見や、バス停の場所や中心地以外のバスの利便性向上への意見が出された。

そのほか、市営住宅の建て替えスケジュールの説明や大雪への対応への説明を受け議論が行われた。



私もひとこと 第60回



やまうち
山内 とし たか
俊隆さん
(粕田2区)

～ Profile～

81歳をすぎる年齢となりましたが、現在も東雲閣で楽しく仕事をしております。粕田で農家民宿を経営し、農業では米作りを一町歩頑張っています。

大館市の にぎわいを求めて

現在は粕田で農家民宿を営んでおります。妻と2人なので、1日ひと家族限定としております。約7割の方が外国人です。各国の言語で会話するのが楽しくて、笑顔でのおもてなしが一番喜ばれます。いろいろできりたんぽを焼き、一緒にお酒を飲んで騒いで会話していると、「こんな所はほかにはなかったの、職場の仲間たちにも伝えたい」とか「知人にも知らせたい」とか「家族みんなでまた来たい」等とSNSやライン等で広めてくれていきます。また、様々なメディアが頻繁に来て拡散するから、ますます忙しいです。ホームページ・じゃらん・楽天・観光課・口コミで大館市の活性化のため、元気で楽しく一日一日を過ごして広めていきたいと思っています。

大阪から地域おこし協力隊が来て、2人の思いがバッチリと合い、ますます

地域の活性化と発展に頑張るところです。

耕作放棄地を解消し、作物を植えて緑を取り戻そうと、雪溶け後の作業が待ち遠しい限りです。

また、農家民宿の二号店オープンに向けて会社を立ち上げ、令和8年度には、株式会社も立ち上げて雇用を増加しなければなりません。

一日一日の変化や前進が楽しくて元気をもらえます。毎日毎日の色々な人との出会いに感謝し、それぞれの考えや夢、趣味等を伺っていると、世界に旅行しているような気持ちです。

町内には、酒こし舞や獅子踊りや虫送り、人形道祖神祭り等、400年の伝統芸能、行事が今も傳承されており、引き継ぐ人を募集しております。いつでも連絡くださいれば一緒に活動できますよ。

「私もひとこと」のコーナーでは、皆さんからの「なまの声」を募集しています。
議会事務局までご連絡ください。

議会を傍聴してみませんか

本会議の傍聴は開会15分前から受け付けています。
市役所5階の傍聴席入口で、受付簿に住所・氏名をご記入いただくなどなくても傍聴できます。
ぜひお越しください。
※座席数には限りがあります。
また、傍聴席での発言や拍手、写真撮影等は禁止ですのでご注意ください。

編集後記

一般質問は、政策を提案したり、住民の要望などを直接反映させることができる重要な場です。そのため緊張もしますが、いかに良い答弁を引き出せるかの挑戦でもあります。

ある問題でチョウナイ(町内)が困っていることを市長に質問しました。それに対し市長から、チョウナイ(市内)で話し合うと返答を頂きました。

私は市長がチョウナイ(町内)で話し合ってくれると感激し質問を終わると、先輩議員から「チョウナイ違い」と指摘され、赤面。

チョウナイ(超ない)

話?ある話?
(伊藤 深雪 記)

